

ふねも、かいじゅうも、おまんじゅうも飛び出す！

子どもは想像力のかたまり！

たとえおもちゃが無くても、新聞紙や空き箱、布切れ、どんなものでも子どもは遊びます。そこにあるのは、想像力。どの子どもにもそなわった力です。それを理解し、伸ばしていくのは大人の役目。こどもの城、保育の部屋にいろいろある場面から、そのヒントを紹介します。

幼児からはじまる「見立て遊び」そして、動物にもヒーローにも変身する「成り切り遊び」。こうした遊びの中で、想像力をはたらかせながら、子どもたちはどんどん成長していきます。

いかた子に。「あ、きょうりゅうになった！」おせんべいの形から、どんどん世界が広がります。

らませやすいものがたくさん置かれています。

「見立て遊び」という扉

見立て遊びがはじまると、まわりのものをなんでも好きなものに変えていきます。そこになんかのイメージして遊ぶ想像力。おうちにあるもの、テレビで知ったもの、街で見たもの、気になるものすべてが目の前に現れます。お部屋には、イメージをふく



お手玉は、おまんじゅう、ぼくだん、つなげて線路などに見立てて遊ぶ。洗濯ばさみやプラスチックのリングも、毎日活躍。

忍者みたい！

いつも使っているカラー帽を、逆さにかぶると「忍者みたい！」。「ほら、忍者」と見せると、たちまち周りも忍者に変身。新聞紙を丸めて剣にしたり、折り紙の手裏剣をポケットに忍ばせたり。変身の術で木や壁に成りきる子、床に延ばしたひもの上を歩いて、綱渡りの術の練習も始まりました。「忍者になって苦手なものに挑戦することもあります」と話してくれた先生。

「かたづけの術！」と先生が言ううと、スイッチが入ったようにおかたづけが始まりました。

自分を見立てる「成り切り遊び」

「成り切り遊び」は自分自身を見立てます。動物やかいじゅう、アニメキャラクターに変身したり、親や大人のまねをするなど、全くのファンタジーの世界から、時には社会性をおびていることも。大人もその世界に招かれたな

ら、調子に合わせて遊んでみては。成り切るにはどんなイメージを広げなければなりません。盛り上がるほど、想像力を引き出すことに。簡単なものや素材。成り切るきっかけになったり、遊びが豊かになります。



布は、マントやドレス、おばけ、頭にまいて海賊。新聞紙も剣や魔法の杖、カーテンなど、こっこ遊びにはかせない。

見立てるもの・おもちゃのバリエーション

色から発想しやすいもの。形、素材（手触りなど）、大きさなどの違う様々なものを、集めたりそろえて置いてみる。いろいろなものの特徴は、発想の幅を広げます。

手をかけすぎない配慮

子どもは想像力のかたまり。発想する機会をたくさん用意したいもの。それには大人が手をかけすぎない、作りすぎないことも必要かも知れません。そして、飛び出すお話を傾けてみましょう。

切り抜く保存版「しよべい画」

「見立て遊びで深まる、友だち、遊び」※「しよべい画」と「はかせとごちん」※「しよべい画」は、今日のテーマの「まとも」は切り抜いて、アート・ミュージック・サイエンスなど「こどもの城」の専門スタッフの知恵が詰まった百科事典になっています。



なにに見えるかな？

「見て、これふね」「こっちはクルマだよ」と、かじったおせんべいを見せながらのおしゃべり。こどもの城保育クラブ3歳児のおやつ時間。ひと口食べたら、またおもしろ

こどもの城

しよべい画 no.8

見立て遊びで深まる、友だち、遊び

保育

お手玉などの手作りおもちゃやつみき、空き箱、新聞紙、布、洗濯ばさみ…。何かに見立てられる、ものやおもちゃは、想像力を引き出します。そして子どもたちは、友だちと遊びを共有することも身に付けていきます。

見立てられるものがあると深まる、友だち、遊び

1人ではつまらないのが見立て遊びの特長。おもしろい思いつきがあると、つい友だちに話したくなります。「ねえ、これかいじゅう」「ほんとだ」見立て遊びだと、イメージを提案したり、共通のイメージを確認して、友だちとのつながりが深まっていきます。また、友だちからあらたなイメージを受けたり、それを認めたり。「これがかいじゅうにしない?」「いいよ」かいじゅうの仲間やすみかかもできてきました。

2人、3人と増えてきて、アイデアを出し合いながら、かいじゅうの世界が広がります。

想像や工夫こそ遊び

こどもの城の保育クラブの部屋では、普通のおもちゃより、見立てられるものやおもちゃで遊ぶ頻度の方が高いといえます。

物質的に豊かで、たくさんの大人の作ったイメージに囲まれて、おもちゃ遊び場にも工夫が行き届いている。今、遊び場に足りないのは、子どもたちの本来持っている想像や工夫をする力を、引き出すことではないでしょうか。



監修：保育研究開発部スタッフ 伊藤路香・高屋久美子